

e-ビーフNEWS 北の牧場から

January 2015

すってんころりん 朝の散歩は打ち身だらけ。先日、一夜で降った雪は、60cm。十勝では10数年来の大雪で、社会が一瞬止まってしまいました。圧雪道路は、除雪が入る前に車で踏み固められ、ガタボコ走り。油断すると車は横滑りを起こします。そこそこで、雪山に突っ込んだ車や圧雪で腹のついた車を引っぱり出したり、災害救助の状態ですね。今まで高速道路並みの市道が順法速度に。除雪した雪山が腰より高くなり、交差点では2m。見えづらくなっています。

寒さも本格的。今朝マイナス15度を記録。とうとう来ましたね。日中でも氷点下以下の真冬日に。この寒さの中、我が家の頭上から、クワークワァーと鳴きながら飛んで行く大きな物体。白鳥でした。この街の中を横切って行くんだと…自然そのものです。巷では、野鳥の関与で鶏インフルの拡大が騒がれています。人が耐性菌を作ったのに、白鳥がブラックスワンにされるのは、寂しいですね。

さて、「e-びーふNEWS 北の牧場から」も2年目に突入です。今年もよろしくお願い致します。



NEWSばか読み

- 高倉健死去 11/19:感銘をありがとう。
- 北海道 JA・町村出資の酪農法人 設立相次ぐ
11/19:腰が重たいけど急げ
- 熊本ゼンカイミート ハラール認証取得/インドネシア牛肉輸出
11/25:九州は積極的
- 欧米 農薬・種子大手商社(モンサルトほか)市場占有率拡大
11/25:欧米の農業戦略
- ユネスコ 和紙が世界無形文化遺産に
11/26:和食、和紙。和牛もついでに
- 原油安 景気に追い風・向かい風
11/29:石油相場の恣意的なのが怪しいぞ
- 円安進行 日本GDP中国の半分に 12/1:隷属化に近づく
- ムーディーズ 日本国債の格付け下げ 12/2:アベノミクス効果
- 明治乳業 牛乳が認知症に効果
12/2:高齢者に牛乳配給制度を設定は如何
- 環境省 昨年度温暖化ガス1.6%増加
12/5:なぜ原発?再エネ政策の強化でしょう。
- 農水省 コメ小売価格の下落に歯止めかからず
12/9:減反ストーリー未完

- 吉野家 牛丼値上げ 12/10:まだまだ。豚丼より安いのは許さじ
- 今年度牛肉輸出 初の1,000t 超え 12/11:円安で効果倍増
- 日銀短観 低インフレ続く見通し 12/12:庶民は壁を越えられず
- FAO 14年度世界穀物生産最高 米国トウモロコシ史上最高
12/13:米国戦略始まり
- COP20 米中が調整主導 日本蚊帳の外
12/14:環境行政の一貫性欠如
- サントリー ウースキー2割上げ
12/16:マッサン効果 それはないでしょ
- 宮崎 鶏インフル発生
12/17:なぜ、またも宮崎。駿くどうにかして
- JA津別 初の有機専用TMRセンター稼働 12/17:すごい。称賛
- 訪日客 1,200万人超え
12/18:円安効果。でもこっちが海外に行きたい
- 乳価3% 12/19:餌代に追い付かず。飼料の自給化急げ
- 全農 1-3月配合飼料上げ
12/20:円安効果。このまま輸入飼料でいいのか
- 15年産 飼料用多収米種子が倍増 12/22:目指せ 反当たり1t
- 気象庁 世界の平均気温の上昇続く
12/23:温暖化の影響がシタシタとやってくる
- 和牛素牛相場 60万円最高値 12/25:営農資金循環に影響する

東京直近NEWS (12/26 Shi-REPORT)

ホルス

全国的に出荷頭数が少ないこと、東京芝浦市場では生体ものが、約2カ月上場がない状況。相場上昇を予測していたが、大阪南港市場では12月中旬より4ケタ1,000円台まで高騰し予測を上回る枝相場高に至る。販売面は、量販店での販売は、積極性は感じずチラシをみても牛肉特売は少ない。12月に入っても切落し需要が中心で、前半の肩ロース、ロースのスタートはやや遅い。本格的な需要は中旬以降と見られたが、中旬以降各社の展示会荷余り品が市中出回り元々評価上げていた上位部位は失速した状況。一部では、再度年末ラストで不足との声も聞き及ぶが後半も動きは鈍くなった。

経産牛

相場は相変わらず高値継続。年内後半では相場もやや緩み、頭数も若干の回復傾向。それでも在庫は足りておらず、仕入枝肉単価がそのまま製品の単価に反映され在庫評価も高騰継続。当面頭数の回復を見込める要素は少なく、相場の下げも予測できない。販売は、特に赤身関係主体にパーツは引合い継続も、牛正肉に関しては季節的にもやや引合い問合せが静かな印象。経産牛パーツも、今までは引合いが弱い関西地区からもノーマルに近い形体で、価格訴求の国産牛肉パーツとして問合せが増加傾向。

活動のお知らせ

- 1月16日(金) 新得 道畜産試験場 第2回畜産技術研修会・理事会
- 1月中旬 ポテトピール検討会 カルビーポテト(帯広工場)

左先生の畜産学研究NEWS

e-びーふNews新年号です。昨年はありがとうございました。今年もよろしくお願いたします。特にご指摘がなければ内容は平易を旨とし、一層の改善を図りつつ昨年通りとさせていただきます。少し前の新聞は選挙一色で「政治とは悪さ加減の選択」とか「権利の上に眠るものは、保護に値せず」などと言うものの12/14の衆議院総選挙は投票率52.66%と過去最低を下回りました。「選べぬ選挙 関心低く」とありますが、紙面には全面広告が大きく載っており、新聞離れの由縁かと思いました。新聞の役割も以前とは異なるのです。e-びーふNewsの内容は前号以降入手できた学・研究会情報を紹介し、十勝の今年の畜産統計資料の解説は次号に回します。

1.11.7-8. 第14回日本産肉研究会(大分県竹田市・九州大学農学部付属農場; 阿蘇大会)

年2回畜産学会大会に合わせて開催されてきた14回の産肉研究会は「九州地域における放牧飼養の挑戦」のテーマで、シンポジウムと「阿蘇地域における放牧肥育の取り組み視察」という現地検討会です。話題提供は以下の5題です。1.「野草地利用による褐毛和種の子牛生産から肥育までの挑戦」(東海大農 服部法文) 2.「褐毛和種を用いた国産飼料100%による周年放牧肥育技術」(九州農研 小林良次) 3.「繁殖黒毛和種の周年親子放牧の実践」(富貴茶園 永松英次) 4.「山地酪農へ挑戦」(山地酪農家 幸山明良) 5.「離島における肉用牛生産の状況と課題」(長崎県北振興局 山口信頭)。阿蘇と言えば雄大な草地での放牧とあか牛(褐毛和種)生産が有名ですが、黒毛も酪農もあり土地利用様式も多様です。野草地や暖・寒地型牧草の活用による周年放牧、和牛繁殖経営などの話題でしたがこれら

の総合的取り組みが離島・中山間地の課題解決にもなっている様です。

2. 日本畜産学会報Vol.85, (4) 2014年11月発行
85巻4号の内容は和文、解説1、一般論文10、技術報告2、総ページ141Pでした。環り協の事業と関連の深い原著論文5報について概略を記します。要望があればお知らせください。次号で対応します。

1.「繁殖性および発育が良好な黒毛和種繁殖育成雌牛群における代謝 ρ ロファイルトの値」(家改 \times 鳥取 渡邊貴之ほか) 実受胎率95.1%の41頭の黒毛和種繁殖牛群の2年間の代謝 ρ ロファイルト(MTP)を行い、繁殖成績の診断に月齢別 ρ デ イコンデ ションスア、ルメソサイズ と共にMTP診断の有効性が示唆された。

2.「大麦代替えとしての玄米給与が黒毛和種去勢牛の産肉性に及ぼす影響」(滋賀県畜振北 北川貴志ほか) 24頭の黒毛和種肥育牛で飼料用玄米を大麦の代替えに10%給与しても産肉性に影響がないことを確認した。

3.「年齢の違いが野生I ν 肉の理化学特性および栄養成分に及ぼす影響」(岩大農 岡田祐季ほか) 子宮妊娠痕から2-4歳と判定した13頭の野生I ν 肉は加齢と共にカリウム含量が増加し、易酸化性脂肪酸比は減少した。

4.「日本短角種経産牛の放牧後の肥育期間と筋肉の理化学特性との関係」(岩大農 村元隆行ほか) 13頭の放牧短角種経産牛を3-267日 ρ トコソで肥育、3-15歳で屠畜、肉の抗酸化能から165日未満の肥育が必要と示唆。

5.「油脂TBA試験紙を用いた牛肉脂質過酸化度の測定と脂質安定性の予測」(東北農研 \times 今成麻衣ほか) 31頭の去勢牛肉のミンチ試料について2つの方法で脂質過酸化度を測定し、TBA試験紙 α^* 値の有効性を確認。

道総研 畜産試験場NEWS

飼料米ととうもろこしサイレージを活用した肉牛生産技術の開発

目次

○とうもろこしサイレージと濃厚飼料の分離給与下における飼料米給与

- ・濃厚飼料中の飼料米混合割合
- ・肥育成績との関連

○とうもろこしサイレージを主体とした飼料米混合TMRの給与

- ・TMR中の飼料用米混合割合
- ・肥育成績との関連

濃厚飼料中の飼料米混合割合と採食量や消化率等との関連



試験方法

供試牛 : ルーメンカニューレ装着黒毛和種去勢牛4頭
(試験開始時38.5ヵ月齢、585kg)

試験処理 : 濃厚飼料中の破碎玄米混合割合
(3.9mmメッシュで粉砕した「きたあおば」)

原物ベースで0、20、40、60%

飼料給与 : 1日2回 (9:00と18:00) 給与
とうもろこしサイレージは自由採食
濃厚飼料は原物で6kg

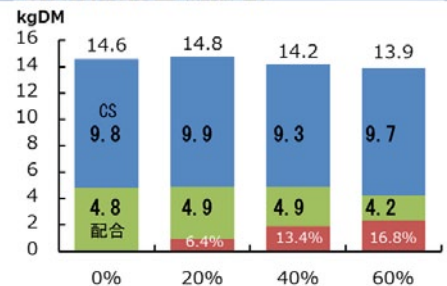


給与飼料の原料構成(%, 乾物)

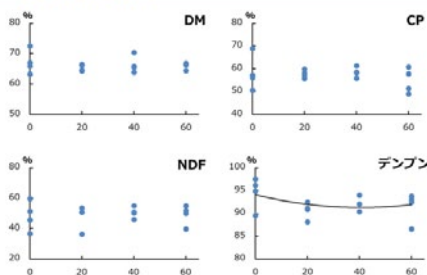
	破碎玄米混合割合			
	0%	20%	40%	60%
破碎玄米	—	20	40	57
非加熱粉碎 とうもろ	50	32.5	15	—
こし 庄べん大麦	10	6.5	3	—
その他	40	41	42	43

乾物でCP15%、IDN83%に設定
その他 : フスマ、大豆粕、コーングルテンフィード、スクリーニングペレット、炭酸カルシウム、食塩、ビタミンADE

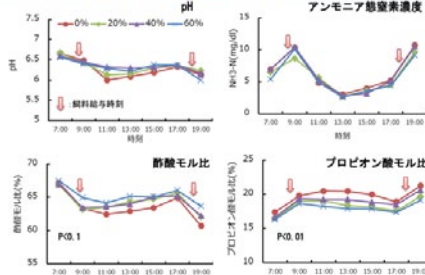
乾物摂取量 (kgDM/日)



消化率(%)



ルーメン内容液性状



分離給与下での破碎玄米割合は?

- 濃厚飼料中の破碎玄米割合を60%まで高めると
- ・乾物摂取量(特に濃厚飼料摂取量)が低下
 - ・デンプン消化率が低下
 - ・ルーメン内プロピオン酸モル比が低下

とうもろこしサイレージとの分離給与下では濃厚飼料中の破碎玄米を40%にとどめた方がよい